NR解析　AI分布、1次モード系比較(訂正版)





Ai分布と1次モード系の層せん断力でNR解析を行った際の結果を示す。解析の際には部材が塑性化しない程度までプッシュオーバーを行う為、最大層間変形角が1/1000の段階で解析を中止し、その結果を元にNR解析を行っている。しかしEW方向のαRiでは、1次モード型の場合上層部の部材にうまく力が伝わらなかった為に異なる結果が出たと考えられる。そこで修正版として最大層間変形角1/500まで解析しその結果を元にR解析を行った結果、上記図の通りEWのαRでもAi分布と1次モード系で差が殆ど見られなくなった。この事から、NR解析においては荷重分布の違いによる解析結果には大きな違いは無いと考えられる。